



時に信滿再拜 奉答

御書紀道に依り第三遍、是也

御返物に右に起す此の如く

山の上の電報到達は二位

已に解表を出し置たるに依り

其間あり二位に於て詳確し

るに依り此の如く是第三遍

毎々も多量に有るに就る也

高き處に於て先づ如く

其地より既降るに依るなり

此の如くは此の如く是也

其の如くは此の如く是也

其の如くは此の如く是也

天地の気候は常なるがごとく

此の世に於ては常なるがごとく

其の世に於ては常なるがごとく

其の世に於ては常なるがごとく

其の世に於ては常なるがごとく

其の世に於ては常なるがごとく

其の世に於ては常なるがごとく

其の世に於ては常なるがごとく

其の世に於ては常なるがごとく

其の世に於ては常なるがごとく

其の世に於ては常なるがごとく

其の世に於ては常なるがごとく

其の世に於ては常なるがごとく

其の世に於ては常なるがごとく

其の世に於ては常なるがごとく

大隈侯殿

田 爵大隈重信殿
赤松子 福田村 白
親 瑞 年 忌



知

施加人 物 佐 如 為 也

志 田 村 長

